



【経営懇話会報告】

毎月行う経営懇話会では、社長をはじめ経営陣と会社取組みの確認や、組合に寄せられるメンバーの声を踏まえ意見交換などを行っています。会社出席者：雨宮社長、松永取締役、小森執行役員、石川執行役員、大原部長、白井担当長
やりとりした内容を踏まえ、メンバーに知っていただきたいことを組合が発信しています。メンバーと会社のパイプ役となり、双方のギャップを埋め、正しい情報が伝わるよう活動しています！！

7月営業概況

【7月全社業績結果】

	予算比	前年比
売上高	95.4%	98.8%
売上総利益	94.7%	100.0%
営業収入	100.1%	115.2%
販管費	96.9%	106.0%
営業利益	74.0%	58.6%

「今月の POINT」

差益が改善傾向！日々の努力が今年度の営業利益達成につながっています

- ▶ 7月の全社業績は営業利益予算・前年共に未達ではありますが、メンバーの日々の努力により、前年に対して売上総利益（差益）が改善傾向にあります。
- ▶ 7月単月では、外販営業においては営業利益予算を達成しています。
- ▶ 店舗の傾向としては客数↑、客単価↑、買上点数↓が続いている状況ですが、買上点数も上昇傾向にあります。

日々のメンバーの努力が、今年度の営業利益目標 5 億円につながっています。取り組みの成果がすこしずつ見えてきてるうさ〜🐰！



戦略転送価の取り組み進捗

目的は???

自社製造商品の一部の店舗納品価格を「原材料原価＝転送価」にすることで、価格を維持・抑制し販売数量を最大化することで、全社利益拡大を図っていく取組み。

＜店舗＞

販売数量を上げることで売上・差益額の向上や安価な販売価格で競合との競争力を高める。

＜工場＞

出庫額の向上や、大量製造により生産性を高め労務比率軽減など

7月には店舗・惣菜部門において戦略転送差益・既存品差益ともに前年よりも改善が見られました。引き続き、工場の収支改善も含めて、全社としての収支改善が必要です。今後の課題としては、お弁当など苦戦しているものは、お客様のニーズに合わせて見直しなどを行いながら売り上げをあげていくことです。原価が上がっている中で、構造的に店舗・工場共に利益ができるような仕組みへと変えていくことが必要だと考えています。

会社見解、お聞かせ下さい！ 働き方（業務改善）に関する意見交換を行いました

業務改善の軸となるものや会社の考えをメンバーが認識することで現場での働き方も大きく前進すると思います。今回、メンバーの声をもとに会社とやりとりした内容の一部をお伝えします。

“会社の考え方を理解することで業務改善が進みそう”ということがあればぜひご意見下さいませ〜🐰



▶ 店舗の営業時間が長い中で、店頭のサービスやそれに伴う本社対応など、お客様対応に想定以上に時間を要することがあります。店舗での提供するサービスの受付時間などの設定について会社としての考えをお聞かせください。

➡ 業務改善の議論をすることはとても大事ですが、その前提として“お客様に喜んでもらう”視点を忘れてはいけません。“要員がいなければサービスをやめる”ということではなく、お客さまのニーズに応えながら、いかにして業務負担の軽減ができるか何かに別のものに変えることができるか…と議論することが大切です。各店舗、お客さまの状況を踏まえて対応時間などは議論していく必要があると考えています。



▶ 本社の働き方ルールの中でも示されている会議の在り方は、目的や重要度に応じて効果的な手段（リアル、Web、録画、メールなど）かつ適切な参加者招集とあるが、まだルールが根付いていないと感じていますが、どう捉えていますか？

➡ 議論や意思決定が必要なものが会議です。特に本社は業務のベースに会議があり、多くの時間を要しています。一方で何も議論しない・決断しない会議も見受けられ、目的の明確化や、参加者も意見をもって発言する場として臨むことが大事だと思っています。主催側・参加者側双方でよい会議にしていけるよう、今一度発信していきたいです。



万引き対策について！！



万引きの対応については、店頭メンバーから被害の深刻さと業務の負担として、継続的に声をいただけてきました。

組合では、上部団体である UA ゼンセンの万引き対策の取り組みについて共有を受けたことをきっかけに、改めて当社における課題感や対応としてどうあるべきか労使で議論しました。

万引き対策は、安全・安心な店づくりによる「未然防止」がカギ！！

万引きをさせないためには積極的な声かけや店内の巡回などが効果的であり、店舗としての接客サービスレベルの向上にもつながる取り組みです。従業員一人一人が地域の安全のためにも万引きを起こさせないという意識を持ち、安全・安心な店舗をみんなでつくっていきましょう。



店内での積極的な声かけは、万引きを未然に防ぐことだけでなく接客サービスの向上にもつながるし、よいことだらけうさね！

＜会社コメント＞

万引き被害については、会社としても課題感をもっています。万引きは犯罪です。抑止のための取り組みも大切ですし、お客様が安全安心にお買い物をしていただくためにも、会社としても「万引きは許さない！」という毅然した対応をしていきたいと考えています。